

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	衛生管理 I			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	講義
担当教員	仁藤 慎一			
実務経験	-			

授業概要
美容師として適切に行動できるよう、公衆衛生及び環境衛生の概要について理解し、さらに空気環境、水環境等の各論について学ぶ。不特定多数の人が利用する施設における衛生上の危害を防止する為、感染症についてそれらの予防方法も含めて学ぶ。
到達目標
①公衆衛生について理解し、美容師、美容業との関わりについて説明できる。 ②環境衛生について理解し、美容師、美容業との関わりについて説明できる。 ③感染症について理解し、美容師、美容業との関わりについて説明できる。
準備学習
テキストの該当ページを読み、予め学習内容を把握しておく。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	『衛生管理』（日本理美容教育センター）
--------	---------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題、公衆衛生発展の歴史
2	公衆衛生の概要	理容師・美容師と公衆衛生、保健所と理容業・美容業
3	保健	母子保健、成人・高齢者保健、精神保健
4	環境衛生	環境衛生の概要
5	環境衛生	空気環境
6	環境衛生	衣服・住居の衛生
7	環境衛生	上・下水道と廃棄物
8	環境衛生	衛生害虫とネズミ、環境保全
9	感染症の総論	人と感染症(1)
10	感染症の総論	人と感染症(2)
11	感染症の総論	病原微生物、感染症の予防(1)
12	感染症の総論	感染症の予防(2)
13	感染症の各論	理容業・美容業と感染症、主な感染症(1)
14	感染症の各論	主な感染症(2)
15	感染症の各論	具体的な対策の例

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	衛生管理Ⅱ			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	講義
担当教員	仁藤 慎一			
実務経験	-			

授業概要
美容師として適切に衛生管理ができるよう、消毒の意義、必要性について学ぶ。各種消毒法について特徴、実施上の注意点について学び、さらに美容所における消毒法についてより具体的に美容師法施行規則との対照も含めて学ぶ。
到達目標
①消毒法の概要について理解し、美容業務との関わりについて説明できる。 ②各種消毒法について理解し、それらの実施方法について説明できる。 ③美容所の消毒法について理解し、具体的実施方法について説明できる。
準備学習
テキストの該当ページを読み、予め学習内容を把握しておく。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	消毒法総論	消毒とは
2	消毒法総論	消毒の意義
3	消毒法総論	理容・美容の業務と消毒との関係
4	消毒法総論	消毒法と適用上の注意
5	消毒法各論	理学的消毒法（殺菌法）
6	消毒法各論	化学的消毒法（殺菌法）
7	消毒法各論	すぐれた消毒法とその実施上の注意
8	消毒法実習	各種消毒薬（消毒薬の概要、器具の使い方）
9	消毒法実習	各種消毒薬（消毒薬と希釈液の濃度、消毒薬機積放）
10	消毒法実習	理容所・美容所の消毒の実際
11	消毒法実習	理容所・美容所の消毒法の実際
12	理容所及び美容所における衛生管理要領	衛生的取扱い等(1)
13	理容所及び美容所における衛生管理要領	衛生的取扱い等(2)
14	理容所及び美容所における衛生管理要領	自主的管理体制
15	理・美容所の自主管理点検表	各点検項目と意義

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	保健I			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	講義
担当教員	田島雅道			
実務経験	-			

授業概要
美容師にとって「美と健康」に関する専門的知識は必要不可欠である。そのためには、人体の構造(解剖学)と機能(生理学)の正しい知識を習得すること、特に頭頸部に関しては深い知識が求められる。健康を支える要素となる食事・栄養・代謝機能・運動・睡眠・神経・内分泌などの知識も併せて習得する。
到達目標
① 骨、関節、骨格筋(特に表情筋) ② 中枢神経(脳神経・脊髄神経)と末梢神経(体性神経・自律神経) ③ 感覚器官(視覚・聴覚・平衡感覚・味覚・嗅覚・皮膚感覚) ④ 血球系、免疫系、アレルギー反応、心血管系、リンパ管系 ⑤ 呼吸器系、消化器系 に関する構造や機能を理解して説明できる。
準備学習
・予習：「人体の構造及び機能」の講義予定箇所を事前に読み、理解できなかった部分をチェックして、講義中に理解が充分にできるように心がける。 ・復習：講義の最後に行った小テストを再度繰り返して行い、関連箇所の内容を読み返して理解を深める。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	保健 (日本理容美容教育センター)
--------	-------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	第1章 頭部・顔部・頸部の体表解剖学	頭頸部の解剖学的構造を理解し、それを説明できる。
2	第1章の要点	練習問題を中心とした知識の整理
3	第2章 骨格器系	骨・関節の構造と機能を理解し、それを説明できる。
4	第3章 筋系	骨格筋(特に表情筋)の名称と、その機能・特徴を理解し、説明できる。
5	第2章～第3章のまとめ	練習問題を中心とした知識の整理
6	第4章 神経系	中枢神経・自律神経の特徴とその生理機能を理解し、説明できる。
7	第5章 感覚器系	視覚・聴覚・平衡感覚・味覚・嗅覚を感知する器官の構造と機能を説明できる。
8	第4章～第5章のまとめ	練習問題を中心とした知識の整理
9	第6章 血液と免疫系	血球の分類と機能、免疫系の特性、アレルギー反応の特徴を理解し、説明できる。
10	第7章 循環器系	心臓・血管系・リンパ管系の機能を理解し、説明できる。
11	第6章～第7章のまとめ	練習問題を中心とした知識の整理
12	第8章 呼吸器系	呼吸器系を構成する器官の構造と機能を理解し、説明できる。
13	第9章 消化器系	消化器系を構成する器官の構造と機能を理解し、説明できる。
14	第8章～第9章のまとめ	練習問題を中心とした知識の整理
15	第1章～第9章全範囲	練習問題を中心に、全範囲の要点をまとめる。

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	保健Ⅱ			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	講義
担当教員	田島雅道			
実務経験	-			

授業概要
美容師にとって、皮膚と皮膚付属器官(毛髪・汗腺・脂腺・爪)の構造と機能に関する知識は必要不可欠である。皮膚や毛髪は食事からの栄養をもとに作られることから、消化器系・循環器系・血液系・神経系とも密接な関係にある。一方、化粧品等による皮膚障害を防止するための正しい知識も求められる。
到達目標
① 皮膚の構造 ② 毛髪・汗腺・脂腺・爪の構造 ③ 皮膚の循環器系と神経系 ④ 皮膚と皮膚付属器官の生理機能(保護・体温調節・知覚・水分保持など) ⑤ 皮膚と皮膚付属器官の保健(栄養・ホルモンとの関係など) ⑥ 皮膚と皮膚付属器官の疾患(皮膚炎・蕁麻疹・角化異常・感染症など)を理解して説明できる。
準備学習
・予習：「皮膚科学」の講義予定箇所を事前に読み、理解できなかった部分をチェックして、講義中に理解が充分にできるように心がける。 ・復習：講義の最後に行った小テストを再度繰り返して行い、関連箇所の内容を読み返して理解を深める。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	保健 (日本理容美容教育センター)
--------	-------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	第1章 皮膚の構造	皮膚の構造に関する知識を理解し、説明できる。
2	第2章 皮膚付属器官の構造-1	毛髪の構造と特性に関する知識を理解し、説明できる。
3	第2章 皮膚付属器官の構造-2	脂腺・汗腺・爪の構造と特性に関する知識を理解し、説明できる。
4	第3章 皮膚の循環器系と神経系	皮膚の血管・リンパ管・神経に関する知識を理解し、説明できる。
5	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能-1	体外保護作用・体温調節作用・知覚作用・皮膚反射・分泌排泄作用に関する知識を理解し、説明できる。
6	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能-2	呼吸作用・吸収作用・貯蔵作用・皮膚免疫・再生作用・毛と爪の働きに関する知識を理解し、説明できる。
7	第1章～第4章の要点と問題・解答・解説	第1章～第4章の要点をチェックし、総合問題に対応出来るようにする。
8	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健-1	皮膚の状態と全身・精神・栄養・嗜好品・病変・水分/皮脂の関係に関する知識を理解し、説明できる。
9	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健-2	皮膚/皮膚付属器官とホルモンの関係、皮膚/毛/爪の保護や手入れに関する知識を理解し、説明できる。
10	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患-1	皮膚の異常と病態、湿疹・皮膚炎に関する知識を理解し、説明できる。
11	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患-2	蕁麻疹・薬疹・口唇炎、温熱・寒冷による皮膚障害、角化異常による皮膚疾患に関する知識を理解し、説明できる。
12	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患-3	色素異常、分泌異常による皮膚疾患、化膿菌による皮膚疾患に関する知識を理解し、説明できる。
13	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患-4	ウイルス・真菌・衛生害虫による皮膚疾患、毛と爪の疾患、皮膚腫瘍に関する知識を理解し、説明できる。
14	第5章～第6章の要点と問題・解答・解説	第5章～第6章の要点をチェックし、総合問題に対応出来るようにする。
15	第1章～第6章全範囲の要点と問題・解答・解説	第1章～第6章全範囲の要点をチェックし、総合問題に対応出来るようにする。

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名		化粧品化学 I		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	講義
担当教員	世喜 利彦			
実務経験	-			

授業概要	
<p>美容師として社会で活躍するために、必ず必要な知識として、前期は化粧品総論から学び、化粧品の性状、使用方法、そして社会的意義や法的根拠、安全性について理解できることを目的とする。これらは、公衆衛生に従事する美容師として身に付けなければならない知識として重要であり、現場で必ず役立つものである。</p>	
到達目標	
<p>化粧品である化粧品および医薬部外品、美容の技術及び基本的な使用方法を理解し説明できる。化粧品の定義と法規制、化粧品の安全性・安定性を理解し説明できる。</p>	
準備学習	
<p>・予習：教科書「化粧品化学」の講義予定部分を事前に読み、わからない部分をマークして、講義中に集中して聴講し理解に努める。 ・復習：講義実施した部分の教科書を再度読み、授業を振り返り、次回の授業冒頭に出題される小テストに備える。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下</p>	

使用テキスト	公益社団法人日本理容美容教育センター、 「化粧品化学」、2025年4月1日第3版第1刷
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	自己紹介・担当科目・シラバスの解説・化学の基礎
2	化粧品総論 ①	化粧品とは何か、化学基礎（原子とは何か）
3	化粧品総論 ②	化粧品と造形、効果と使用プロセス、化学基礎（原子核、電子殻、化学結合）
4	化粧品を使用する際に気をつけるべきこと ①	化粧品使用時に注意する点、化学基礎（無機物の世界（1））
5	化粧品を使用する際に気をつけるべきこと ②	化粧品の定義と法規制、化学基礎（無機物の世界（2））
6	化粧品を使用する際に気をつけるべきこと ③	化粧品の安全性と安定性 化粧品による事故例と状況
7	化粧品の成り立ち ①	化粧品の成り立ち、水と親水性溶媒 化粧品の種類と化学など
8	化粧品の成り立ち ②	油性原料（油脂、ロウ、炭化水素など） 化学結合と炭化水素など
9	化粧品の成り立ち ③	界面活性剤（アニオン、カチオン、両性、ノニオン各界面活性剤）
10	化粧品の成り立ち ④	高分子化合物・色材（1）
11	化粧品の成り立ち ⑤	色材（2）・香料
12	化粧品の成り立ち ⑥	製品を安定させる配合原料 化学基礎（酸と塩基、酸化還元）
13	化粧品の成り立ち ⑥	その他の機能性配合原料 タンパク質の変性、官能基
14	化粧品の成り立ち ⑦	雑貨原料 化学基礎（有機物質の世界）
15	化粧品化学 I のまとめ	化粧品とは、安全性、安定性、油性原料、界面活性剤、色材、香料など

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名		化粧品化学Ⅱ		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	講義
	世喜利彦			
実務経験	-			

授業概要	
<p>美容師として社会で活躍するために、必ず必要な知識として、後期では化粧品各論、スキンケア製品、メイクアップ製品、ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルブケア製品について、種類と機能、作用と効果、そして使用方法と役割等を理解することを目的とする。</p>	
到達目標	
<p>化粧品のスキンケア、メイクアップ、ヘアケア、ヘアメイクアップ、スカルブ製品等の種類と機能、作用と効果を理解し説明できる。</p>	
<p>・予習：教科書「化粧品化学」の講義予定部分を事前に読み、わからない部分をマークして、講義中に集中して聴講し理解に努める。・復習：講義実施した部分の教科書を再度読み、授業を振り返り、次回の授業冒頭に出題される小テストに備える。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下</p>	

使用テキスト	公益社団法人日本理容美容教育センター、 「化粧品化学」、2025年4月1日第3版第1刷
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	スキンケア製品 ①	化粧品の効果と使用プロセス、クレンジング用化粧品
2	スキンケア製品 ②	コンディショニング用化粧品
3	スキンケア製品 ③	トリートメント用化粧品 (1)
4	スキンケア製品 ④	トリートメント用化粧品 (2)
5	メイクアップ製品 ①	メイクアップ、ベースメイクアップ、ポイントメイクアップ化粧品
6	メイクアップ製品 ②	アイメイクアップ、まつ毛ケア製品
7	メイクアップ製品 ③	ネイルメイクアップ製品
8	ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルブケア製品 ①	ヘアクレンジング用化粧品
9	ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルブケア製品 ②	ヘアコンディショニング用化粧品
10	ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルブケア製品 ③	ヘアスタイリング料
11	ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルブケア製品 ④	パーマ剤
12	ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルブケア製品 ⑤	ヘアカラー製品
13	ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルブケア製品 ⑥	永久染毛剤
14	ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルブケア製品 ⑦	スカルブケア製品
15	化粧品化学 I, II のまとめ	化粧品総論、化粧品各論の重要ポイント確認

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	美容技術理論 I			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	講義
担当教員	齋藤尚子			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要
美容において必須である用具の種類と特徴、扱い方を学ぶことを始め各分野においての基礎的な知識・論理・理論を学ばせることとする。
到達目標
美容技術においての専門用語の理解と活用法を把握し、能率的に実践に挑める創造力と能力を身につけるようになること。
準備学習
美容において、使用する用具にはどのようなものがあるかを認識する。 周囲のサロンには、どのようなメニュー名があるかを知見する。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	公益社団法人 日本理容美容教育センター 発行 美容技術理論1・2
--------	-------------------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	科目授業の説明・意義のある授業の受け方・レクリエーション
2	序章・美容用具	美容技術における作業姿勢・人体各部名称・頭部の区分・器具・機械
3	美容用具	美容用具の種類・名称・手入れ方法・構造
4	シャンプーイング	シャンプーイングの総論・種類
5	シャンプーイング	リンス・コンディショナー・トリートメントの役割
6	ヘアカッティング	ヘアカッティングとは・シザー・レザーの扱い方
7	ヘアカッティング	刃物の材質・ヘアカッティングの基礎理論
8	ヘアカッティング	カット技法名
9	美容用具・シャンプーイング・ヘアカッティングのまとめ	復習・確認・解説によるレクリエーション
10	メイクアップ	美容技術理論2・メイクアップ概論・色彩について
11	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論・種類
12	ヘアカラーリング	染毛のメカニズム・種類の復習
13	ヘアカラーリング	技術手順・色の基本
14	まとめ	これまでの確認試験
15	まとめ・確認試験の解説	振り返りと改善点・課題の解説

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	美容技術理論Ⅱ			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	講義
担当教員	齋藤尚子			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要	
美容の各分野においての基礎的な技術の名称・知識・論理・理論を学ばせることとする。	
到達目標	
美容技術においての専門用語の理解と活用法を把握し、能率的に実践に挑める創造力と能力を身につけるようになること。	
準備学習	
美容において、どのようなパーマスタイル・ヘアセットがあるかを知見する。	
成績評価	
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)	

使用テキスト	公益社団法人 日本理容美容教育センター 発行 美容技術理論1・2
--------	-------------------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	後期による今後の授業説明・レクリエーション
2	前期まとめ確認	これまでの確認・解説
3	パーマントウェーピング	パーマントウェーブの歴史と理論・仕組み
4	パーマントウェーピング	パーマ剤の分類 1
5	パーマントウェーピング	パーマ剤の分類 2
6	パーマントウェーピング	パーマントウェーブの技術
7	パーマントウェーブ・幾何学的錯視	パーマントウェーブ技術(縮毛矯正)・幾何学的錯視とは
8	幾何学的錯視・パーマントウェーピングのまとめ	デザインの要素・比率・バランス パーマントウェーピングの復習・解説によるレクリエーション
9	ヘアセットイング	ヘアセットイングとは(パーティング・シェーピング・カーリング)
10	ヘアセットイング	ローラー・ブロー・アイロン操作アップ理論
11	ヘアセットイング	カールの分類 1
12	ヘアセットイング	カールの分類 2
13	エステ	エステティック概論・基本手技・フェイシャルパックの種類
14	まとめ	これまでの確認試験
15	まとめ・確認試験の解説	振り返りと改善点・課題の解説

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校<美容学科>

科目名	カッティング I			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	実習
担当教員	松井 あゆみ / 河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要	
<p>ウィッグの取り扱いかた・シザーズの開閉・ブロッキングの取り方など、カット技術に関する知識・技術を習得する。 カッティングテキストを使用し、カットの基礎的スタイルを学ぶ。</p>	
到達目標	
<p>シザーズの基礎的な操作方法を理解し、正しく使えるようになる。 多様な基礎カット技術の習得し、実践で応用できるよう理解する。 安全で正確なカット作業を行うための姿勢・手順を身に付ける。</p>	
準備学習	
<p>習得した知識・技術をノートに整理し、理解を深める。 身に付けた技術を繰り返し練習し、確実に定着させる。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	美容理論1 / 美容技術理論1
--------	-----------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ワンレン 水平	4ブロック/シザーズ開閉/ワンレングスコームスルー C009 1体目
2	ワンレン 前下がり	ワンレングス前下がり / 水平 C009 1体目
3	ワンレン 前上がり	ワンレングス前上がり / グラデーション (ホリゾンタル・パーティカル) オンベース C009 1体目
4	サイドグラデーション	サイドグラデーション / 理論 C009 1体目
5	サイドグラデーション	サイドグラデーション カラーマニキュア用 C009 1体目
6	ワンレン 水平 (ブロー用)	ワンレン 水平 ブロー用 C009 2体目
7	スクエアレイヤー ロング ×2	スクエアレイヤー ロングバージョン C009 3体目
8	スクエアレイヤー ショート ×2	スクエアレイヤー ショート C009 3体目
9	セイルレイヤー	セイルレイヤー ブロー用 (ハンドブロー) C009 3体目
10	ロングレイヤー	ロングスタイル パーマかけてブロー用 001HH (1体目) 4体目 P141
11	長め～ボブのスタイル (レイヤー)	C009 5体目
12	レイヤー オン レイヤー	C009 5体目
13	レイヤー オン グラ	C009 5体目
14	刈り上げアレンジスタイル	刈り上げ C009 5体目
15	アレンジ	フリースタイル 001HH (2体目) 6体目

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	美容実習 カットイング II			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	実習
担当教員	松井 あゆみ / 河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要	
<p>美容国家試験のカット課題に必要な 基礎技術・理解・操作精度 を身につけ、試験本番で安定したパフォーマンスを発揮できる力を養う。 特に ワンレングス・グラデーション・レイヤー の基本構造と、国家試験特有の採点基準に沿った正確なカットを習得する。</p>	
到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験カットの基礎理論を理解して説明できるようになる ・国家試験の原点ポイントを理解し、自己修正できる 	
準備学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験ウィッグ ・ダックカール ・スプレーヤー 	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	美容理論1 / 美容技術理論1
--------	-----------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	国家試験カットの基礎 ①	国家試験カットの理解
2	国家試験カットの基礎 ②	国家試験カットの理解
3	国家試験カットの基礎 ③	国家試験カットの理解
4	国家試験カットの基礎 ④	国家試験カットの理解
5	国家試験カットの基礎 ⑤	国家試験カットの理解
6	国家試験カットの基礎 ⑥	国家試験カットの理解
7	国家試験カットの基礎 ⑦	国家試験カットの理解
8	国家試験カットの基礎 ⑧	国家試験カットの理解
9	国家試験カットの基礎 ⑨	国家試験カットの理解
10	国家試験カットの基礎 ⑩	国家試験カットの理解
11	国家試験カット タイムトライ	時間を計測して行う
12	国家試験カット タイムトライ	時間を計測して行う
13	国家試験カット タイムトライ	時間を計測して行う
14	国家試験カット タイムトライ	時間を計測して行う
15	総合試験	国家試験カットのを既定の時間内で行い 国家試験の採点同様に採点を行う

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	美容実習 カットイング Ⅲ			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	実習
担当教員	松井 あゆみ / 河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要	
<p>国家試験カット課題において 合格レベルを超えた精度・スピード・再現性を身につけ、本番で「減点されない」だけでなく 高評価を狙える技術力を養う。 さらに、国家試験特有の 誤差許容範囲・形の安定性・時間管理 を徹底的に体得する。衛生の原点項目の理解を深める。</p>	
到達目標	
<p>・国家試験カットを制限時間内に安定して完成できる ・左右対称性・角度・長さの誤差を3ミリ以内に抑えられる ・原点ポイントを理解し、事前に回避できる ・本番より3分早い仕上がりを達成 ・衛生面の限t限項目の理解と徹底</p>	
準備学習	
<p>・国家試験カットウィッグ ・シザーズ ・ダックカール ・スプレーヤー</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	美容理論1 / 美容技術理論1
--------	-----------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	国家試験カット 衛生減点 説明	国家試験カット/衛生減点の理解、徹底
2	国家試験カット タイムトライ	国家試験カット/衛生減点の理解、徹底
3	国家試験カット タイムトライ	国家試験カット/衛生減点の理解、徹底
4	国家試験カット タイムトライ	国家試験カット/衛生減点の理解、徹底
5	国家試験カット タイムトライ	国家試験カット/衛生減点の理解、徹底
6	国家試験カット タイムトライ	国家試験カット/衛生減点の理解、徹底
7	国家試験カット タイムトライ	国家試験カット/衛生減点の理解、徹底
8	国家試験カット タイムトライ	国家試験カット/衛生減点の理解、徹底
9	国家試験カット タイムトライ	国家試験カット/衛生減点の理解、徹底
10	国家試験カット 模擬テスト	模擬テスト
11	国家試験カット 模擬テスト	模擬テスト
12	国家試験カット 模擬テスト	模擬テスト
13	国家試験カット 模擬テスト	模擬テスト
14	国家試験カット 模擬テスト	模擬テスト
15	最終総合試験	国家試験模擬テスト (衛生減点 含む)

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	ワインディング I			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	実習
担当教員	松井 あゆみ / 河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要	
<p>ウィッグの手入れ方法・ブロッキングなどワインディングの基礎知識を学び、正確に正しい知識・技術で決められた時間内合格ラインの完成度に仕上げられるように繰り返し技術習得に励む。</p>	
到達目標	
<p>①ブロッキングの習得②ワインディングの正しい技術の理解③時間内に合格レベルに巻きあげるワインディングの正しい基礎技術・知識を身に付け、国家試験第二課題の理解に向けてオールパースの技術を習得する。</p>	
準備学習	
<p>習得した知識・技術をノートにまとめる。習得した技術を繰り返し練習を行う。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	美容実習 1 / 美容技術理論 1
--------	-------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ブロッキング	授業目的・ウィッグの取り扱い・2重ゴム・10ブロック
2	ブロッキング	10ブロック・作業姿勢・立ち位置
3	ワインディング69本構成 基礎①	上巻き・1本巻・つまむ・分ける・持ち替えるなどの基礎動作を滑らかにする。
4	ワインディング69本構成 基礎①	上巻き・引き具合・方向・均一性を体感し、安定した操作を目指す。
5	ワインディング69本構成 基礎①	上巻き・下巻き・幅・厚み・方向を揃える練習を行う。
6	ワインディング69本構成 基礎①	下巻き・一定のテンポで作業する練習を行い、乱れない動きを身につける。
7	ワインディング69本構成 基礎①	センター導入・見る位置・距離・角度を整え、手元の見え方を安定させる。
8	ワインディング69本構成 基礎①	センター導入・毛束を乱さず扱うための手つきを確認する。
9	ワインディング69本構成 基礎①	センター・時間計測
10	中間実技確認テスト①	センターを指定時間に完成させる
11	ワインディング69本構成 基礎①	バックサイド導入・角度を揃え、仕上がりの統一感を意識する。
12	ワインディング69本構成 基礎①	バックサイド導入・角度を揃え、仕上がりの統一感を意識する。
13	ワインディング69本構成 基礎①	バックサイド導入・角度を揃え、仕上がりの統一感を意識する。
14	ワインディング69本構成 基礎①	バックサイド導入・角度を揃え、仕上がりの統一感を意識する。
15	基礎の総合試験 ①	指定時間でセンター・バックサイド完成させる

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	ワインディングⅡ			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	実習
担当教員	松井 あゆみ / 河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要
ブロッキングなどワインディングの基礎知識を学び、正確に正しい知識・技術で決められた時間内合格ラインの完成度に仕上げられるように繰り返し技術習得に励む。
到達目標
①ブロッキングの習得②ワインディングの正しい技術の理解③時間内に合格レベルに巻きあげるワインディングの正しい基礎技術・知識を身に付け、国家試験第二課題の理解に向けてオールパースの技術を習得する。
準備学習
習得した知識・技術をノートにまとめる。習得した技術を繰り返し練習を行う
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下

使用テキスト	美容実習 1 / 美容技術理論 1
--------	-------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ワインディング69本構成 基礎②	フロントサイド導入・どこから巻くか、どの順番で進めるかを整理する
2	ワインディング69本構成 基礎②	フロントサイド・巻き方おさまりの理解
3	ワインディング69本構成 基礎②	全頭のおさまり確認
4	ワインディング69本構成 基礎②	方向性が全体の印象にどう影響するかを体感する。
5	ワインディング69本構成 基礎②	場所によって変わる動きを調整する。
6	ワインディング69本構成 基礎②	身体の向き・手の動き・移動の仕方を効率化する。
7	ワインディング69本構成 基礎②	巻きの高さ・角度・密度を揃える練習を行う。
8	ワインディング69本構成 基礎②	一定のリズムで全体を進める練習を行う。
9	ワインディング69本構成 基礎②	乱れやすい箇所を重点的に調整する。
10	中間確認テスト②	全体を通して巻き、仕上がりの統一性を確認する。
11	ワインディング69本構成 基礎②	わずかな角度・力の差を調整し、仕上がりの質を上げる。
12	ワインディング69本構成 基礎②	密度の違いが仕上がりにどう影響するかを確認する。
13	ワインディング69本構成 基礎②	高さのズレをなくし、整った仕上がりを目指す。
14	ワインディング69本構成 基礎②	速さを上げてでも乱れない動きを目指す。
15	基礎の総合試験②	時間計測

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	ワインディングⅢ			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	実習
担当教員	松井 あゆみ / 河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要	
<p>ブロッキングなどワインディングの基礎知識を学び、正確に正しい知識・技術で決められた時間内合格ラインの完成度に仕上げられるように繰り返し技術習得に励む。</p>	
到達目標	
<p>①ブロッキングの習得②ワインディングの正しい技術の理解③時間内に合格レベルに巻きあげるワインディングの正しい基礎技術・知識を身に付け、国家試験第二課題の理解に向けてオールパースの技術を習得する。</p>	
準備学習	
<p>習得した知識・技術をノートにまとめる。習得した技術を繰り返し練習を行う</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下</p>	

使用テキスト	美容実習 1 / 美容技術理論 1
--------	-------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
2	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
3	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
4	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
5	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
6	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
7	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
8	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
9	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
10	中間テスト③	期末試験模擬試験 ① 時間計測
11	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
12	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
13	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
14	ワインディング69本構成 基礎③	時間計測
15	総まとめ	期末試験 模擬試験 ②

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名		ワインディングⅣ		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	実習
担当教員	松井 あゆみ / 河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要	
<p>国家試験第二課題であるワインディング技術について、基礎技術の定着から本番仕様の完成度向上までを段階的に学習する。ブッキング、毛束操作、ロッド配置、時間管理など、国家試験に必要な知識・技術を体系的に習得し、制限時間内で合格基準の仕上がりを安定して再現できる力を養う。</p>	
到達目標	
<p>国家試験仕様のブッキング・毛束操作・ロッド配置を正確に理解し再現できる。 制限時間内に合格レベルのワインディングを安定して完成させることができる。 本番環境を想定した姿勢・動線・集中力を身につけ、安定したパフォーマンスを発揮できる。 模擬試験を通して、国家試験本番に必要な技術・精神的準備を整える。</p>	
準備学習	
<p>授業で習得した知識・技術をノートに整理し、改善点を明確にする。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下</p>	

使用テキスト	美容実習 1 / 美容技術理論 1
--------	-------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ブッキング	授業目的・ウイッグの取り扱い・ブッキング
2	ブッキング	ブッキング・作業姿勢・立ち位置
3	国家試験第2課題 構成 ①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し再現する。
4	国家試験第2課題 構成 ①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し再現する。
5	国家試験第2課題 構成 ①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し再現する。
6	国家試験第2課題 構成 ①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し再現する。
7	国家試験第2課題 構成 ①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し再現する。
8	国家試験第2課題 構成 ①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し再現する。
9	国家試験第2課題 構成 ①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し再現する。
10	中間確認テスト①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し再現する。
11	国家試験第2課題 構成 ①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し時間内に再現する。
12	国家試験第2課題 構成 ①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し時間内に再現する。
13	国家試験第2課題 構成 ①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し時間内に再現する。
14	国家試験第2課題 構成 ①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し時間内に再現する。
15	基礎の総合試験①	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し指定時間内に再現する。

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名		ワインディングV		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	実習
担当教員	松井 あゆみ / 河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要
<p>国家試験第二課題であるワインディング技術について、基礎技術の定着から本番仕様の完成度向上までを段階的に学習する。ブロッキング、毛束操作、ロッド配置、時間管理など、国家試験に必要な知識・技術を体系的に習得し、制限時間内で合格基準の仕上がりを安定して再現できる力を養う</p>
到達目標
<p>国家試験仕様のブロッキング・毛束操作・ロッド配置を正確に理解し再現できる。 制限時間内に合格レベルのワインディングを安定して完成させることができる。 本番環境を想定した姿勢・動線・集中力を身につけ、安定したパフォーマンスを発揮できる。 模擬試験を通して、国家試験本番に必要な技術・精神的準備を整える。</p>
準備学習
<p>授業で習得した知識・技術をノートに整理し、改善点を明確にする。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下</p>

使用テキスト	美容実習 1 / 美容技術理論 1
--------	-------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	国家試験第2課題 構成②	国家試験の基準に沿った配列・角度を理解し再現する。
2	国家試験第2課題 構成②	時間計測。ロッドの間隔・方向を揃え、仕上がりの均一性を高める。
3	国家試験第2課題 構成②	時間計測。ロッドの間隔・方向を揃え、仕上がりの均一性を高める。
4	国家試験第2課題 構成②	時間計測。ロッドの間隔・方向を揃え、仕上がりの均一性を高める。
5	国家試験第2課題 構成②	時間内での完成度を高める反復練習。
6	国家試験第2課題 構成②	時間内での完成度を高める反復練習。
7	国家試験第2課題 構成②	時間内での完成度を高める反復練習。
8	国家試験第2課題 構成②	時間内での完成度を高める反復練習。
9	国家試験第2課題 構成②	時間内での完成度を高める反復練習。
10	中間確認テスト②	国家試験基準で評価し、課題を明確にする。
11	国家試験第2課題 構成②	再現性強化のため改善練習。
12	国家試験第2課題 構成②	再現性強化のため改善練習。
13	国家試験第2課題 構成②	再現性強化のため改善練習。
14	国家試験第2課題 構成②	再現性強化のため改善練習。
15	基礎の総合試験②	国家試験基準で評価し、課題を明確にする。

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	ワインディングVI			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	実習
担当教員	松井 あゆみ / 河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要
<p>国家試験第二課題であるワインディング技術について、基礎技術の定着から本番仕様の完成度向上までを段階的に学習する。ブロッキング、毛束操作、ロッド配置、時間管理など、国家試験に必要な知識・技術を体系的に習得し、制限時間内で合格基準の仕上がりを安定して再現できる力を養う</p>
到達目標
<p>国家試験仕様のブロッキング・毛束操作・ロッド配置を正確に理解し再現できる。 制限時間内に合格レベルのワインディングを安定して完成させることができる。 本番環境を想定した姿勢・動線・集中力を身につけ、安定したパフォーマンスを発揮できる。 模擬試験を通して、国家試験本番に必要な技術・精神的準備を整える。</p>
準備学習
<p>授業で習得した知識・技術をノートに整理し、改善点を明確にする。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下</p>

使用テキスト	美容実習 1 / 美容技術理論 1
--------	-------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	国家試験第2課題 構成③	緊張状態でも安定した技術を発揮する訓練。
2	国家試験第3課題 構成③	緊張状態でも安定した技術を発揮する訓練。
3	国家試験第4課題 構成③	試験当日の準備動作を確立し、作業効率を最大化する。
4	国家試験第5課題 構成③	試験当日の準備動作を確立し、作業効率を最大化する。
5	国家試験第6課題 構成③	国家試験基準での評価を受け、改善点を明確化する。
6	国家試験第7課題 構成③	国家試験基準での評価を受け、改善点を明確化する。
7	国家試験第8課題 構成③	国家試験基準での評価を受け、改善点を明確化する。
8	国家試験第9課題 構成③	国家試験基準での評価を受け、改善点を明確化する。
9	国家試験第10課題 構成③	国家試験基準での評価を受け、改善点を明確化する。
10	国家試験第11課題 構成③	試験本番と同条件で確認を行う。
11	国家試験第12課題 構成③	試験本番と同条件で確認を行う。
12	国家試験第13課題 構成③	試験本番と同条件で確認を行う。
13	模擬試験(本番と同条件)	試験本番と同条件で確認を行う。
14	模擬試験(本番と同条件)	試験本番と同条件で確認を行う。
15	総まとめ	試験本番と同条件で確認を行う。

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名		シャンプー I		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期・後期	1	実習
担当教員	河西 飛果瑠 / 松井 あゆみ			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要	
美容技術の基礎であるシャンプー技術を、正しい姿勢・手順・力加減・衛生管理を含めて習得する。相モデル実習を通して、技術だけでなく「お客様の立場で感じることを理解し、接客姿勢を身につける。	
到達目標	
正しいシャンプー手順（泡立て～すすぎ～タオルドライ）を習得する 頭の球体を意識した手の運びができる 力加減・指の使い方・姿勢を適切にコントロールできる 相モデル実習を通して、接客姿勢・気遣いを理解する ドライの基本操作を習得する	
準備学習	
頭部名称の理解	
成績評価	
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）	

使用テキスト	美容技術理論1 / 美容理論1
--------	-----------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	導入、基礎1	導入・デモンストレーション・相モデル
2	泡立て反復	泡立ての反復
3	流れの習得	泡立て～流しの流れを反復 一連の流れを覚える
4	姿勢・手の運び	手の運び・姿勢の確認 流れの定着と動作の安定
5	すすぎの徹底	すすぎの徹底 流れを完全に覚える。
6	力加減・指の使い方	指の使い方・力加減の調整 技術の精度を高める
7	頭の球体を意識	頭の丸みに沿った手の運び。つむじ・ハチ・ネーブの理解 球体構造を意識した施術ができる。
8	球体の精度向上	手の角度・指の方向を調整 球体に沿った動きの精度向上。
9	総合確認	球体に沿ったシャンプーの完成度を高める 頭の形に合わせた施術が自然にできる
10	総合確認	仕上がりのチェック 球体を意識したシャンプーの最終確認
11	シャンプー→ドライ①	人頭でのドライの基本を習得する。
12	シャンプー→ドライ②	シャンプー→ドライの一連の流れを完成 サロンワークに近い流れを身につける。
13	総合実習①（通し練習）	時間配分の練習 技術の安定化とスピード向上。
14	総合実習②（技術チェック）	力加減・姿勢・流し残しの確認 実技評価に向けた最終調整。
15	実技テスト	技術・姿勢・衛生・接客を総合評価

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	ネイル I			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	実習
担当教員	松井あゆみ			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要
<p>ネイルに関する基礎知識と基本的な技術を体系的に学び、衛生管理や爪の構造、正しい施術手順を理解しながら、実践的なスキルを身につけていく。ネイルケアやカラーリングなど、JNECネイル技能検定試験3級で求められる技術を確実に習得し、試験合格を目指して基礎力をしっかりと固めることを目的とする。</p>
到達目標
<p>JNEC3級検定試験に適した準備、道具の衛生管理・配置も適切なテーブルセッティングができる。ネイルケア・カラーリング・アートの基礎的技術を総合的に身につけ、JNECネイル技能検定試験3級に合格できる基礎力を確立することを最終目標とする。</p>
準備学習
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 総合試験60%、小テスト20%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>

使用テキスト	JNAテクニカルシステム ベーシック
--------	--------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ネイルケア 理論・基礎 ①	ネイルケアの理論・基礎を学ぶ
2	ネイルケア 理論・基礎 ②	ネイルケアの理論・基礎を学ぶ
3	ネイルケア 理論・基礎 ③	ネイルケアの理論・基礎を学ぶ
4	ネイルケア 基礎 ④	ネイルケアの基礎を学ぶ
5	ネイルケア 基礎 ⑤	ネイルケアの基礎を学ぶ
6	ネイルケア 基礎 ⑥	ネイルケアの基礎を学ぶ
7	ネイルケア 基礎 ⑦	ネイルケアの基礎を学ぶ
8	ネイルケア 基礎 ⑧	ネイルケアの基礎を学ぶ
9	JNEC 3級試験対策	JNEC3級検定試験対応の知識・技術を学ぶ
10	JNEC 3級試験対策	JNEC3級検定試験対応の知識・技術を学ぶ
11	JNEC 3級試験対策	JNEC3級検定試験対応の知識・技術を学ぶ
12	JNEC 3級試験対策	JNEC3級検定試験 時間計測
13	JNEC 3級試験対策	JNEC3級検定試験 時間計測
14	JNEC 3級試験 模擬試験①	JNEC3級検定模擬試験本番同様採点 時間計測
15	総まとめ 模擬試験②	JNEC3級検定模擬試験本番同様採点 時間計測

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	ネイル II			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	実習
担当教員	松井 あゆみ			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要
JNAジェルネイル初級検定試験の合格を目指し、ジェルネイルに関する基礎知識と基本技術を総合的に学習する。テーブルセッティングからジェルネイルの基礎理論、実践的なジェル塗布技術、アート表現まで幅広く習得し、サロンワークに必要な正しい手順と衛生管理、道具の扱い方を身につけることを目的とする。
到達目標
JNAジェルネイル初級検定に必要な基礎知識と基本技術を体系的に習得し、衛生管理やテーブルセッティングから、ジェルの特性理解、正しい塗布・硬化さらに基本的なアート表現までを検定基準に沿って実践できる力を身につけ、サロンワークにも応用できる総合的なジェルネイル技術を確立することを目指す。
準備学習
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 総合試験60%、小テスト20%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下

使用テキスト	ジェルネイル テクニカルシステム
--------	------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ジェルネイル理論・基礎 ①	ジェルネイルの理論・基礎を学ぶ
2	ジェルネイル理論・基礎 ②	ジェルネイルの理論・基礎を学ぶ
3	ジェルネイル理論・基礎 ③	ジェルネイルの理論・基礎を学ぶ
4	ジェルネイル基礎 ④	ジェルネイルの基礎を学ぶ
5	ジェルネイル基礎 ⑤	ジェルネイルの基礎を学ぶ
6	ジェルネイル基礎 ⑥	ジェルネイルの基礎を学ぶ
7	ジェルネイル基礎 ⑦	ジェルネイルの基礎を学ぶ
8	ジェルネイル基礎 ⑧	ジェルネイルの基礎を学ぶ
9	JNEC 3級試験対策	JNA初級ジェルネイル初級検定試験対応の知識・技術を学ぶ
10	JNEC 3級試験対策	JNA初級ジェルネイル初級検定試験対応の知識・技術を学ぶ
11	JNEC 3級試験対策	JNA初級ジェルネイル初級検定試験対応の知識・技術を学ぶ
12	JNEC 3級試験対策	JNA初級ジェルネイル初級検定試験対策 時間計測
13	JNEC 3級試験対策	JNA初級ジェルネイル初級検定試験対策 時間計測
14	JNEC 3級試験 模擬試験①	JNA初級ジェルネイル級検定模擬試験本番同様採点 時間計測
15	総まとめ 模擬試験②	JNA初級ジェルネイル級検定模擬試験本番同様採点 時間計測

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名		メイクアップ ^o I		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	実習
担当教員	朝倉泰子			
実務経験	-			

授業概要
メイクアップの必要性を理解し、人にメイクをする技術を身につける。スキンケアテクニックとベースメイクテクニックの手順をマスターすることを重点的に行う。
到達目標
「日本メイクアップ技術検定 3級」の取得 ①正しい手技手順でスキンケアからベースメイクを施し、顔分析をしてチーク・ハイライト・ローライトを入れる。 ②モデルに合わせた、顔の骨格や立体・バランスを習得できる。
準備学習
技術を自己研鑽する。授業内で実習したことを次の授業までに実践し、確実に技術が身につけられるようにする。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 総合試験60%、小テスト20%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	「日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 2級3級」 一般社団法人JMA
--------	---

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	自己紹介・意義・シラバスの内容・道具の確認・セッティング
2	スキンケア①	スキンケア理論とテクニック イントメイククレンジング・クレンジングテクニック実践 ポ
3	スキンケア②	ポイントメイククレンジング・クレンジングテクニック復習 化粧水・乳液テクニック実践 (手順を覚える)
4	スキンケア③	ポイントメイククレンジング・クレンジング・化粧水・乳液テクニック実践
5	スキンケア④	スキンケアテクニックトータルレッスン
6	ベースメイク①	ベースメイク理論とテクニック メイクアップベース～ファンデーション～パウダー実践 メ
7	ベースメイク②	メイクアップベース～ファンデーション～パウダー復習 ハンドテクニック、スポンジ・パフテクニック
8	ベースメイク③	ベースメイク質感・肌トラブル・チーク・ハイライト・ローライトの効果と顔分析・修整テクニック
9	トータルレッスン①	スキンケアテクニック～ベースメイクテクニック 実践・復習
10	トータルレッスン②	スキンケアテクニック・ベースメイクテクニック タイムトライアル
11	トータルレッスン③	スキンケアテクニック・ベースメイクテクニック タイムトライアル
12	トータルレッスン④	スキンケアテクニック・ベースメイクテクニック タイムトライアル
13	模擬試験①	3級実技試験内容 (1クール45分ずつ)
14	模擬試験②	3級実技試験内容 (1クール45分ずつ)
15	まとめ	タイムトライアル・苦手克服

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	メイクアップⅡ			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	実習
担当教員	朝倉泰子			
実務経験	-			

授業概要
様々なメイクアップにふれることで、メイクの応用力を身につけ技術の幅を広げる。フォトコンテストを通じて、表現力・創造力を身につける。
到達目標
①客観的な視点から顔を分析できる。②様々なメイクアップを施すことにより、イメージについての理解を深めることができる。③フォトコンテストを通じて一つの作品を創り上げることができる。
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 総合試験60%、小テスト20%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	自己紹介・概要・シラバスの解説
2	メイクアップ①	骨格メイク(自分の顔を知る・大人顔・子供顔)
3	メイクアップ②	ソフトメイク
4	メイクアップ③	シャープメイク
5	メイクアップ④	韓国メイク
6	メイクアップ④	ブライダルメイク 座学・プランニングの仕方
7	メイクアップ⑤	ブライダルメイク(洋装・白ドレス)プランニング・メイク実践
8	メイクアップ⑥	ブライダルメイク(洋装・色ドレス)プランニング・メイク実践
9	メイクアップ⑦	ガングロメイク(テーマに合わせたメイクの実践)
10	メイクアップ⑧	模写メイク
11	まとめ	定期テスト
12	フォトコンテスト①	テーマに合わせた作品制作・プランニング(導入・実践)
13	フォトコンテスト②	考案したメイクを表現する(実践)
14	フォトコンテスト③	テーマに合わせた作品制作・撮影
15	フォトコンテスト④	テーマに合わせた作品制作・撮影

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	カラーリング			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期・後期	1	実習
担当教員	河西 飛果瑠 / 松井 あゆみ			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要
<p>カラー剤の基礎理解から塗布技術、ホイルワーク、デザインカラー、作品制作までを一貫して学び、サロンワークに必要な実践力を身につける。 薬剤選定能力・塗布技術・デザイン構成力を総合的に育成する。</p>
到達目標
<p>カラー剤の基礎知識（1剤・2剤・濃度・反応）を理解する 基本的な塗布技術（リタッチ・全体塗布）を習得する ホイルワーク（ウィービング・スライシング）の基礎を習得する ブリーチ・デザインカラーの薬剤選定ができる 1つの作品を企画し、完成させる力を身につける</p>
準備学習
毛髪構造の基礎理解
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト

授業計画		
回数	単元	内容
1	カラー剤の基礎理解	カラー剤の種類を変えて毛束を染める
2	塗布練習	ウィッグを使った塗布練習リタッチから毛先までの基本的な塗布方法を習得
3	塗布練習	ウィッグを使った塗布練習リタッチから毛先までの基本的な塗布方法を習得
4	カラーリング基礎	カラー剤を使いウィッグを染める
5	カラーリング基礎	カラー剤を使いウィッグを染める【小テスト】
6	カラーリング基礎	ブリーチ剤を使いウィッグを染める
7	マニキュア基礎	マニキュアと塩基性でウィッグを染める
8	ホイルワーク基礎	トレーニングクリームでハイライト練習
9	ホイルワーク基礎	トレーニングクリームでハイライト練習
10	ホイルワーク基礎	カラー剤を使いウィッグを染める【小テスト】
11	カラーリング基礎	ブリーチ剤を使いウィッグを染める
12	薬剤選定と実践	薬剤選定を行いカラー剤を使いウィッグを染める
13	ホイルワーク応用	スライシングやデザインカラー基礎となるブロッキングを習得
14	作品制作	ブリーチからデザインカラーまでを通して一つの作品を完成させる
15	作品制作/課題提出	ブリーチからデザインカラーまでを通して一つの作品を完成させる

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	ブロー			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期・後期	1	実習
担当教員	河西 飛果瑠 / 松井 あゆみ			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要
<p>デンマンブラシ・ロールブラシを用いたブロー技術を習得する ワンレングス・グラデーション・レイヤーなど、カットラインに応じたブローを理解する ブロー後の仕上げカットにつなげる技術を身につける 実践的なサロンワークに近い流れ（ブロー→仕上げ）を習得する</p>
到達目標
<p>デンマンブラシ・ロールブラシの使い分けができる ワンレングス・グラ・レイヤーのブローが正確にできる 髪の引き出し角度・テンション・毛流れをコントロールできる ブロー後の仕上げカットができる ショート・ミディアム・ロングの長さ別ブローができる</p>
準備学習
ブッキングの基礎
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下</p>

使用テキスト	
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	ワンレングス × デンマンブラシ（基礎）	デンマンブラシの基本操作を習得する
2	ワンレングス × デンマンブラシ（反復）	根元の立ち上げ
3	ワンレングス × デンマンブラシ（反復）	ワンレングスブローの安定化【小テスト】
4	ショート × ハンドブロー	根元の立ち上げ方向づけハンドブローでショートの形を作る
5	ミディアム × ハンドブロー	内巻き・外ハネのコントロール
6	ミディアム × ハンドブロー	内巻き・外ハネのコントロール【小テスト】
7	グラデーション × ロールブラシ（基礎）	グラの丸みを作るブロー 引き出し角度の理解
8	グラデーション × ロールブラシ（基礎）	グラの丸みを作るブロー 引き出し角度の理解【小テスト】
9	レイヤー × ロールブラシ（基礎）	レイヤーブローの基本を理解
10	レイヤー × ロールブラシ（反復）	レイヤーブローの安定化【小テスト】
11	レイヤー × ロールブラシ（応用）	レイヤーのデザイン性を表現できる
12	ロング × ロールブラシ（ストレート）	ロング特有のテンションと毛流れのコントロール【小テスト】
13	ロング × ロールブラシ（ストレート）	ロールブラシでのストレート操作を習得
14	ロング × ハンドブロー	パーマを生かしたブロー【小テスト】
15	総合試験	課題に合わせたブロー

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	アップ			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期・後期	1	実習
担当教員	河西 飛果瑠 / 松井 あゆみ			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要
<p>基礎的な道具操作・逆毛・ピンワーク・編み技術を習得し、トレンドヘアスタイルからブライダルでよく使われるヘア、日本髪まで幅広いスタイルを作れる実践力を身につける。</p> <p>基礎から応用まで段階的に学び、最終的には自らデザインした作品を完成させる力を育成する。</p>
到達目標
<p>道具の正しい扱い方を理解し、安全に使用できる</p> <p>逆毛・ピンワーク・編み技術などの基礎操作を習得する</p> <p>トレンドアレンジ・ブライダルアレンジの構成ができる</p> <p>新日本髪の基礎的なベース作成ができる</p> <p>応用スタイルを自ら構成し、作品として仕上げられる</p>
準備学習
<p>頭部の名称を覚える</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。</p> <p>定期試験70%、小テスト10%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>

使用テキスト	美容技術理論1 / 美容理論1
--------	-----------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	基礎知識 1	道具の説明、1束にまとめ紐ゴムで結ぶ、逆毛の立て方ほどこ方
2	基礎知識2	前回の復習（1束、逆毛）正しいピンのうち方
3	基礎知識3	前回の復習（ピンうち）三つ編み（表裏、引き出し方）編み込み（両編み込み表裏、片編み込み）ねじり編みローブ編み【小テスト】
4	基礎知識4	復習（編み込み）トレンドスタイル
5	基礎知識5	復習（ピンうち）けたぼの使い方、作り方
6	基礎知識6	復習（ピンうち）抱き合わせの仕方
7	基礎知識7	前回の復習（抱き合わせ）夜会完成【小テスト】
8	応用 1	トレンドスタイル
9	応用2	ブライダルヘア 1
10	新日本髪	新日本髪（ベース作成）
11	新日本髪	新日本髪
12	応用3	ブライダルヘア 2
13	応用4	編み下ろしスタイル
14	応用5	応用トレンドスタイル
15	作品制作 / 課題提出	自由課題作成

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名		総合演習 I		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期・後期	1	実習
担当教員	松井 あゆみ / 河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要	
<p>美容に関わる多様な視点を総合的に学び、人の外見・印象・関わり方について幅広く理解することを目的とする。印象形成の仕組み、対人コミュニケーション、環境や背景への配慮など、美容に関連する基礎的な考え方を扱う。状況に応じて柔軟に内容を展開することで、実践に応用できる視点と姿勢を育成する。</p>	
到達目標	
<p>対人コミュニケーションの基礎 基礎的な観察力 美容領域の基本的理解 多様な背景への配慮</p>	
準備学習	
<p>観察・対話・簡単な実践など、授業内で行う活動に積極的に参加する姿勢。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 態度・意欲100%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
2	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
3	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
4	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
5	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
6	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
7	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
8	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
9	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
10	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
11	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
12	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
13	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
14	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
15	美容技術の知識 ①	美容の知識・技術を総合的に学ぶ

令和7年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名		情報デザイン I		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	講義
担当教員	木下愛成			
実務経験	-			

授業概要	
<p>PC操作の基礎と情報リテラシーを身につけ、WebやSNS、生成AIサービスにおける「情報」を活用する能力や態度を養う。 Microsoft社ソフトやデジタルツールを活用したデジタル表現の基盤を学ぶ。</p>	
到達目標	
<p>①PC（Windows）の基本操作が行える。 ②授業で扱うアプリやサービスの操作が行える。 ③情報リテラシーについて重要性を理解し、トラブルを回避する能力が身につく。 ④生成AIを使用する姿勢が身につく。 ⑤Canvaを利用してチラシ、動画問わず表現できる。</p>	
準備学習	
<p>・日頃より自主的にPCを操作・実践すること。 ・美容の演習授業で行った作品は、行う前、行った後で写真を撮りためること。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 課題提出80%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>	

使用テキスト	<p>【情報】参考資料：noa社「情報倫理ハンドブック」 ※テキストは配布等を行う。</p>
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	PC操作方法の理解	導入(授業概要および目標、成績評価)、PCの操作方法の理解
2	学内システムの利活用、OneDriveの理解	Teams、UMU等の学校システムの利活用（確認）、OneDrive設定・利用、スマホアプリとの連携
3	フォルダ整理とPC操作	ファイル・フォルダの整理方法の理解、実際の整理
4	デジタルノート	OneNoteの紹介、スマホアプリとの連携
5	ブラウザでの検索	ブラウザでのネット検索方法、Googleアカウント作成
6	Canva①	Canvaの使い方説明 ～名刺（自己紹介カード）を作ろう～
7	情報リテラシー①	情報リテラシーの理解（SNS利用含む）
8	情報リテラシー②	SNSのトラブル事例を基にした、肖像権、著作権、炎上などの学習
9	生成AIの利活用	生成AIの利活用（プロンプトの書き方、利用時の注意事項）
10	情報リテラシー③	テキストコミュニケーションにおける配慮の理解
11	Canva②	Canvaの利用 ～Instagramのサムネイル作成～
12	Canva③	Canvaの利用 ～Instagramのリール動画を作成しよう①～ <おススメの飲食店について>
13	Canva④	Canvaの利用 ～Instagramのリール動画を作成しよう②～ <おススメのサロンについて>
14	業界システムの関連	PC・スマホ、SNS、ICTサービス、業界の広告ビジネス、地図など、世の中で動いているサービスについて
15	情報デザイン I まとめ	定期試験はInstagramのリール動画作成および、チラシ作成の提出をもって採点し、評価する。

令和7年度 シラバス

アルファ医療福祉専門学校 <美容学科>

科目名		情報デザインⅡ		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	講義
担当教員	木下愛成			
実務経験	-			

授業概要	
<p>情報デザインⅠを基盤とし、美容業界で必要なICTサービスを活用する態度を養う。特にAI技術やSNSを始めとするデジタルメディアを活用し、情報表現力や実践的なデジタル技術を総合的に身に付けます。</p>	
到達目標	
<p>①情報デザインⅠで学んだ基本操作を習熟させる。 ②SNSリテラシー（マーケティング手法含む）が身につく。 ③写真の構図や露出・コントラストの調整など、加工技術が身につく。 ④生成AIを活用したアイデア出しや提案技術が身につく。</p>	
準備学習	
<p>・日頃より自主的にPCを操作・実践すること。 ・美容の演習授業で行った作品は、行う前、行った後で写真を撮りためること。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 課題提出80%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>	

使用テキスト	【情報】参考資料：noa社「情報倫理ハンドブック」
--------	---------------------------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ホットペッパービューティーの活用	ホットペッパービューティーワークについて <外部講師予定>
2	ホットペッパービューティーの活用	ホットペッパービューティーについて <外部講師予定>
3	生成AIの応用活用① フリーBGMの活用	オリエンテーション。生成AIで音楽の作成および、フリーBGMの利用方法を説明。商用利用時の注意点説明。
4	生成AIの応用活用② フリーイラストの活用	生成AIで写真の作成。フリーイラストの活用方法を説明。商用利用時の注意点説明。
5	Instagramの活用①	Instagramの開設、Instagramの機能確認、操作方法
6	Instagramの活用②	ビジネスアカウントとマーケティング基礎【外部講師】
7	Instagramの活用③	マーケティング応用と炎上時の対応【外部講師】
8	スマホの設定確認 Instagramの活用実践	スマホの設定確認（カメラ設定、アプリ登録状況、バックグラウンド処理など）、CanvaとInstagramを連動させ、自身のポートフォリオ作成開始
9	画像の加工	ミングル外部講師
10	LINEビジネスの活用①	LINEビジネスの登録、各種設定、トーク確認
11	LINEビジネスの活用②	LINEビジネスのCanvaを使ってリッチメニュー作成、設定
12	WebページとGoogleMap登録	Googleアカウントを利用したWebページ作成とGoogleMap登録紹介
13	顧客管理とリピーター戦略	顧客管理システムの活用、各種システムとの連携
14	POSシステム、その他システムの紹介	POSシステムの説明、各種システムとの連携
15	情報デザインまとめ	情報デザインⅡまとめ、Instagramでのポートフォリオ発表

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名		キャリアデザインⅠ		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期・後期	1	講義
担当教員	大川拓馬			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要	
<p>皆さん一人ひとりが美容師としてどのようなキャリア（職業人生）を歩みたいのか、卒業後の進路を共に考える時間です。自分自身のことをよく知るための「自己理解」に焦点を当て、個人・少人数ワークを中心に進めます。また、「職業理解」を図るために、美容業界で働く現場の方による講話をオムニバス形式でおこないます。</p>	
到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> 自身の興味・能力・価値観を認識し、これまでの経験を振り返ることで、「自己理解」を深める。 美容師が活躍できる場を知り、「職業理解」を深め、自身が目指す美容師像を考える。 キャリアに対する他者の価値観に触れ、視野を広げる。 	
準備学習	
<ul style="list-style-type: none"> 各回授業の振り返りを行い、「自己理解」「職業理解」を深める。 ゲストスピーカーによる講話前にはゲストのサロン・法人について下調べを行う。 求人検索システムやサロンホームページを利用し、進路に関する情報収集を行う。 	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 課題提出80%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>	

使用テキスト	随時、適宜配布
--------	---------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ガイダンス	「キャリアデザイン」とは
2	自己理解①	自己理解における「3つの視点」①willを考える
3	自己理解②	自己理解における「3つの視点」②canを考える
4	自己理解③	自己理解における「3つの視点」③mustを考える
5	自己理解④	長所・短所/強みを考える
6	自己理解⑤	自己表現シートの作成
7	自己理解⑥	自己表現シートの発表
8	職業理解①	美容業界でのキャリア形成について
9	職業理解②	ゲストスピーカー講話 ヘアサロン編 ※A・Bクラス合同
10	職業理解③	ゲストスピーカー講話 ネイルサロン・アイサロン編 ※A・Bクラス合同
11	職業理解④	ゲストスピーカー講話 ブライダルサロン編 ※A・Bクラス合同
12	職業理解⑤	ゲストスピーカー講話 福祉美容編 ※A・Bクラス合同
13	自己理解⑦	自身のキャリアプラン（将来像）を考える/最終提出課題について
14	まとめ	就職活動に向けて
15	企業説明会	校内企業説明会 ※A・Bクラス合同/1限・2限通しでの開催

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	ビジュアルデザイン I			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	講義
担当教員	大城 喜彬			
実務経験	-			

授業概要	
<p>描画材や素材の特性を理解するとともに、ビジュアルデザインの根幹をなす形態・色彩・構図の基礎理論を学びます。実習を通じて造形上の基礎能力を体系的に修得し、自らの思考を視覚化するための多角的な表現力を養います。</p>	
到達目標	
<p>表現の多様性を理解し、自らの思考や感情を視覚化することの意義と、創造的活動が持つ可能性を認識する。 対象の観察を通じて得られた発見を、適切な技法やコンセプトへと昇華させ、具体的な表現に展開できる。 色彩や形態などの視覚要素が与える心理的効果を理解し、造形の基本原則（セオリー）を実習を通じて修得する。</p>	
準備学習	
<p>透明水彩 3色、水彩画用紙、筆、パレット、水バケツ、メモ用紙（メモとエスキース用）、鉛筆、カッター 練り消し、消しゴム、画用紙、トレペ、マスキングテープなど</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 課題提出80%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>	

使用テキスト	
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	色彩①	色彩について学ぶ
2	色彩②	色彩による表現
3	色彩③	色彩による構成1
4	色彩④	色彩による構成2
5	鉛筆デッサン①	鉛筆デッサンー基本
6	鉛筆デッサン②	鉛筆デッサンー捉え方
7	鉛筆デッサン③	鉛筆デッサンー携帯を探る
8	鉛筆デッサン④	鉛筆デッサンー細密描写1
9	鉛筆デッサン⑤	鉛筆デッサンー細密描写2
10	構成原理①	視覚のルールを知る
11	構成原理②	実際に手を動かして体感する
12	構成原理③	抽象表現に挑戦する1
13	構成原理④	抽象表現に挑戦する2
14	構成原理⑤	模様・装飾的な表現に挑戦する1
15	構成原理⑥	模様・装飾的な表現に挑戦する2

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	フォトグラフィー			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期	1	講義
担当教員	大城 喜彬			
実務経験	-			

授業概要

自らの表現したい「世界観」を視覚化するための撮影技術を習得します。スマートフォンから一眼レフ・ミラーレス機へのステップアップを図り、現場で生きるライティングや構図の基礎を学びます。

到達目標

プロの視点で光と構図を捉える基礎を習得し、スマホとミラーレス機の技術や使い分けの判断力を養います。露出や色彩の知識を活かし、理想の肌色を表現する編集力を身につけるとともに、スタジオ撮影の実践を通じて、自分の世界観を一枚の作品やポートフォリオとして形にできる能力の修得を目指します。

準備学習

スマートフォン：十分な空き容量を確保しておくこと。
標準「写真」アプリ：基本的なレタッチは端末標準の機能を使用します。
Instagramアカウント：グリッド投稿のシミュレーション（編集機能のみ）に使用します。

成績評価

出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。
課題提出80%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）

使用テキスト

授業計画

回数	単元	内容
1	視覚のアップデート①	イントロダクション「写真のルールと『好き』の正体」
2	視覚のアップデート②	スマホでプロの目線①「光」を操る
3	視覚のアップデート③	スマホでプロの目線②「構図」の設計図
4	機材の力と色の科学①	ミラーレス一眼体験「ボケとシャッターの快感」
5	機材の力と色の科学②	露出の基礎「光を数字で捉える」
6	機材の力と色の科学③	色彩論「理想の肌色を作る技術」
7	光の攻略①	屋外撮影「太陽光を味方にする」
8	光の攻略②	室内撮影「影を演出に活用する」
9	編集とライティングの応用①	レタッチの応用「1枚の写真を3つのブランドに変える」
10	編集とライティングの応用②	スタジオライティング①「光を組み立てる」
11	編集とライティングの応用③	スタジオライティング②「レフ板とキャッチライト」
12	編集とライティングの応用④	SNS発信の戦略とマナー
13	総仕上げ・キュレーション①	自由撮影 & ベストショット・セレクト
14	総仕上げ・キュレーション②	グリッド・キュレーション「並びの美学」
15	総仕上げ・キュレーション③	デジタル・ポートフォリオ観賞会

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	ファッション			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期・後期	1	講義
担当教員	長谷部 麻衣子			
実務経験	-			

授業概要
<p>本授業では、ファッションを自己表現や社会的メッセージを持つ「言語」として捉え、その構造を学ぶ。前半では歴史・素材・色彩などの知識を学び、後半では価値観やアイデンティティと結びつけて表現として理解する。最終的にテーマに基づいたスタイリングを通して「美しさ」や「自分らしさ」を再定義する。</p>
到達目標
<p>ファッションの歴史や社会的役割を理解し、色彩・素材・スタイリングによる印象やメッセージの設計を理解する。また、自己や他者の価値観やアイデンティティを言語化し、外見表現として結び付け、自身の視点でテーマ設定や考察・対話ができる。</p>
準備学習
<p>関連資料（画像・記事・映像等）や展示等が提示された場合は事前に確認し理解を深めるとともに、最終発表に向けて日常的に参考となる画像や情報を収集・蓄積する。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含まない。 課題提出80%・態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト

授業計画		
回数	単元	内容
1	わたしの服には意味がある？	内容：日常の服装や見た目の選択に興味があることに気づく ワーク：自己紹介・今日の服・髪・メイクの理由を言葉にする
2	着たい自分・見せたい自分	内容：自己イメージと他者との印象のズレを知る ワーク：理想の自分を可視化
3	ファッションの歴史①（近代のはじまり）	内容：衣服からファッションへ。服飾と社会の変化を知る ワーク：時代の服装から社会的背景や価値観を読み取る
4	ファッションの歴史②（現代への流れ）	内容：近代から現代。服飾と社会の変化を知る ワーク：時代の服装から社会的背景や価値観を読み取る
5	日本のファッション史	内容：日本の服装の変化と価値観や美意識を知る ワーク：前回までの講義から日本と西洋を比較し、違いや共通点を発見する
6	素材が語るメッセージ	内容：素材（天然・化繊・再生）と印象の関係 ワーク：触感→印象→理由を言語化
7	テクノロジーと未来のファッション	内容：スマートテキスタイル・サステナブル・最新事例 ワーク：未来のファッション表現はどう描かれるか
8	色と感情	内容：色彩と印象 ワーク：色から感情・印象を考える
9	イメージと言葉（トレンド分析）	内容：ファッション画像から印象を言語化・分析 ワーク画像から連想してワードを出す。イメージを言語化
10	印象の設計（トータルビューティ）	内容：服・髪・メイクの組み合わせによる印象操作 ワーク：シーン別スタイルを考える
11	ファッションとアイデンティティ	内容：ファッションと自己表現の関係、ジェンダーや文化と外見の関係を知る ワーク：さまざまなスタイルを見て、どのような印象やメッセージを感じるか考える
12	自分軸を知る	内容：価値観・美意識の発見 ワーク：これまでの講義内容を経て、自身の価値観の変化を確認する
13	表現としてのファッション	内容：ファッションとアートとの関係、コスチュームデザイン ワーク：テーマに基づいたスタイルを「作品」として考える
14	コンセプトメイキングと表現設計	内容：自分のテーマをもとに、ファッション表現のコンセプトを設計する ワーク：テーマ/コンセプトなどを整理し、最終発表の準備を行う
15	最終発表「美しさの再定義」	内容：コンセプト・スタイリング・言葉などで自由表現 ワーク：プレゼンテーション

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校<美容学科>

科目名	ブランディング			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	演習
担当教員	瀧 将仁			
実務経験	-			

授業概要
<p>本授業は、ブランディングの意義及び役割を理解し、自己分析、顧客理解、自己表現や世界観の構築、視覚・言語表現、情報発信の基礎を学ぶことで、美容師としての発信力と付加価値を高め、実務及び将来のキャリア形成に資する基礎的能力を養成する。</p>
到達目標
<p>美容業界におけるブランディングの意義及び役割を理解し、自己分析及び顧客理解を通して、自身の強みや世界観を整理したうえで、価値や魅力を適切に表現・発信できる基礎的能力を身につける。また、美容師としての付加価値を高め、実務及び将来のキャリア形成に活かす視点を修得する。</p>
準備学習
<p>美容業界におけるブランドや発信事例に関心を持ち、自己表現や世界観がどのように価値として伝えられているかを日常的に観察しておくこと。</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 課題提出80%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>

使用テキスト	配布資料
--------	------

授業計画		
回数	単元	内容
1	ブランディングとは何か	ブランディングの基本的な考え方を学び、身近な商品、店舗、人物、サービスにおけるブランドの役割を理解する。
2	ゲストスピーカー特別編①	活躍するデザイナーから直接学ぶ
3	自己分析① 自分の強みを知る	興味、関心、価値観、得意なことを整理し、自身の個性や強みを把握する。
4	自己分析② 自己表現と世界観の整理	自分らしさとは何かを考え、自己表現や世界観をどのように形づくるかを学ぶ。
5	自己分析③ 自己表現と世界観の整理	自分らしさとは何かを考え、自己表現や世界観を表現する。
6	顧客理解① ターゲットを知る/ニーズと価値の関係	商品やサービスを必要とする人の属性、価値観、行動を考え、対象者の捉え方を学ぶ。
7	ブランドコンセプトの設定	自己分析や対象理解をもとに、商品、人物、店舗、サービス等のコンセプトや対象者が求めるものと提供される価値の関係から選ばれる理由を考える。
8	ゲストスピーカー特別編②	活躍するデザイナーから直接学ぶ
9	視覚的表現① 色彩・写真・デザイン	色彩、形、写真、デザイン等が与える印象を学び、視覚表現の重要性を理解する。
10	視覚的表現② 作品と見せ方	ポスター、パッケージ、SNS画像、作品写真等を例に、見せ方や統一感の重要性を学ぶ。
11	言語的表現① 言葉で魅力を伝える	キャッチコピー、紹介文、説明文等を作成し、価値や魅力の言語化を学ぶ。
12	SNSとセルフブランディング 一貫性のあるブランド設計	オリジナルの商品、自分自身、サービス等を題材に、コンセプト、表現方法、発信内容を整理し、ブランド案を作成する。
13	ブランディング実践演習	オリジナルの商品、自分自身、サービス等を題材に、コンセプト、表現方法、発信内容を整理し、ブランド案を作成する。
14	発表・講評・振り返り	作成したブランド案を発表し、講評及び振り返りを通して理解を深める。
15	発表・講評・振り返り	作成したブランド案を発表し、講評及び振り返りを通して理解を深める。

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	パーソナルカラー			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期・後期	1	講義
担当教員	河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要
JPCAが定義するパーソナルカラー理論を正しく理解し、実務で活用できる基礎力を身につける 色彩の見え方・調和・分類の仕組みを体系的に学ぶ 美容・ファッション・メイク・接客など、各自の専門領域で応用できる判断力を育成する
到達目標
パーソナルカラーの4シーズン分類の特徴を説明できる 色相・明度・彩度・清濁など、色の属性を正しく読み取れる 簡易的なカラー分析ができる 顔色の変化・質感・立体感など、診断時の観察ポイントを理解している パーソナルカラーをメイク・ヘアカラー・ファッション提案に応用できる
準備学習
自分自身の色の見え方や好みを意識化し、観察力の土台をつくる
成績評価
出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 中間実技 確認テスト・小テスト80%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)

使用テキスト	色彩技能パーソナルカラー検定公式テキストモジュール1：初級<改訂版> 監修：NPO法人日本パーソナルカラー協会
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	基礎知識 1	色を見るための条件
2	基礎知識 2	色の属性 色相 明度
3	基礎知識 2	彩度 清濁
4	基礎知識 3	色のものさし
5	基礎知識 4	色彩の心理効果
6	基礎知識 5	配色法
7	基礎知識 5	基本の配色技法
8	基礎知識 6	フォーシーズン分類
9	パーソナルカラー応用編	パーソナルカラー応用編
10	過去問	模擬試験
11	解答と解説	解答と解説
12	ワークブック作成	ワークブック作成
13	過去問	模擬試験
14	解答と解説	解答と解説
15	検定試験	モジュール1 検定試験

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校 <美容学科>

科目名	福祉美容			
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	後期	1	実習
担当教員	河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要
<p>高齢者・障害者・療養中の方に対する美容施術の理解を深め、安全で尊厳を守る美容を提供できる知識と技術を身につける。 さらに、人生の最終段階に寄り添う美容（ターミナルケア）への理解を育てる。</p>
到達目標
<p>高齢者・障害者・療養者への理解を深め、適切な美容施術ができる 感染対策・衛生管理を正しく実践できる 車椅子・ベッドでの施術を安全に行える ターミナルケアの基礎理解を持つ 美容師としての倫理観・使命感を育てる 準福祉理美容士の資格を取得することを目標とする</p>
準備学習
<p>高齢者・障害者に対する基本的理解（相手の状態を知識としてではなく、人として理解する準備を整える。）</p>
成績評価
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 中間実技確認テスト・小テスト80%、態度・意欲20%の計算で評点を算出し、評価とする。（小数点以下切り捨て）</p>

使用テキスト	<p>准福祉理美容士養成講座テキスト NPO法人日本理美容福祉協会教育部</p>
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	1章 第1節	高齢者、障害者について感じる事
2	第1章（第2節～第4節）	社会福祉制度
3	第2章	福祉理美容とは
4	第3章	障害者と病気と認知症への理解
5	第3章	障害者と病気と認知症への理解
6	第4章	医療の基本的理解と感染、消毒について
7	第5章	ターミナルケア
8	介助に関する知識	車椅子 杖（歩行助手）
9	介助に関する知識	車椅子（車椅子助手） シャンプー
10	体位、姿勢交換の介護	車椅子 ベット
11	体位、姿勢交換の介護	車椅子 ベット
12	技術	ベットシャンプー
13	技術	ベットシャンプー
14	復習	復習、テスト対策
15	資格試験	準福祉理美容士 資格試験

令和8年度 シラバス

アルファ医療福祉美容専門学校<美容学科>

科目名		美容総合 I・II		
対象学科	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
美容学科	1年	前期・後期	2	実習
担当教員	松井 あゆみ ・ 河西 飛果瑠			
実務経験	美容所等において、美容師としての実務経験を有する			

授業概要	
<p>美容領域における多角的な視点を統合的に学び、人の外見・印象・対人関係を総合的に理解する力を育成する。印象形成の心理的・社会的メカニズム、コミュニケーションの構造、環境要因や文化的背景の影響など、美容に関連する基礎理論と実践的知見を体系的に扱う。</p>	
到達目標	
<p>美容に関わるさまざまな価値観や文化の違いを知り、相手に配慮した関わり方ができるようになる。相手をよく観察し、その人に合った提案やサポートの方向性を考えられるようになる。授業で学んだ知識を実際の場面で活かし、自分なりに工夫しながら柔軟に対応できる姿勢を身につける。</p>	
準備学習	
<p>観察・対話・簡単な実践など、授業内で行う活動に積極的に参加する姿勢。</p>	
成績評価	
<p>出席率は成績評価のための要件とし、評価対象には含めない。 態度・意欲100%の計算で評点を算出し、評価とする。(小数点以下切り捨て)</p>	

使用テキスト	
--------	--

授業計画		
回数	単元	内容
1	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
2	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
3	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
4	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
5	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
6	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
7	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
8	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
9	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
10	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
11	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
12	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
13	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
14	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ
15	美容技術の知識 ②	美容の知識・技術を総合的に学ぶ